

リトファスゾイレとスマホアプリを用いたやさしい日本語並行表示による観光情報支援の試み

伊藤恵*, 長内一真*, 奥野拓*, 木塚あゆみ*, 伊藤(横山)美紀**, 高橋圭介**

*公立はこだて未来大学 **北海道教育大学函館校

kei@fun.ac.jp

概要: 様々な観光用の情報提示方法の一つにリトファスゾイレと呼ばれる円筒形掲示塔がある。リトファスゾイレは、その形状から周囲の景観に溶け込み易い情報掲示方法と言える。一方で、リトファスゾイレ上の情報は専門的かつ正確な表現であるために、一般には馴染みの薄い難解な日本語で表記されており、理解できる対象者が限られているのが現状である。本研究ではリトファスゾイレに対する追加情報表示が可能なスマホアプリを用い、同アプリ上に「やさしい日本語版」の表示をすることを提案する。これにより、国で日本語初級程度を学んできた訪日外国人観光客を含めた、より広い層への観光情報提示を目指す。本システムはリトファスゾイレに設置する QR コードと距離センサをスマホアプリから利用するものであり、利用者が携帯端末上で検索等の操作をほとんどせずに情報閲覧できることが特徴である。

Keyword: 観光情報, リトファスゾイレ, やさしい日本語, スマホアプリ

1. はじめに

様々な観光用の情報提示方法の一つにリトファスゾイレと呼ばれる円筒形掲示塔がある(図 1)。リトファスゾイレは、その形状から周囲の景観に溶け込み易い情報掲示方法と言える。実際、2014年に函館の五稜郭築造 150 周年祭の記念行事として実施された「函館リトファスゾイレ/ヒストリア・ハコダディ」では、五稜郭跡内を始め全 30 基が同市内各所に設置され、観光客や市民の注目を浴びた[1]。函館リトファスゾイレに掲示された情報は設置された観光スポットに関する歴史上の人物などの情報であり、正確な情報ではあるが、専門的であるために歴史に関する知識が少ない場合には理解が難しい情報でもある。

一方、役場における外国人対応や災害時の減災などのためのやさしい日本語使用が注目されている[2][3][4]ほか、観光客を対象としたやさしい日本語の使用や掲示に関する取り組みもある[5][6][7]。

我々はリトファスゾイレへの追加情報表示が可能な支援システム[8][9]に着目し、リトファスゾイ

レ上の専門的で正確だが難解な歴史情報に対して、やさしい日本語への置き換えを行うことで、より広い層への観光情報提示を目指す。



図 1 函館リトファスゾイレ

2. リトファスゾイレへの追加情報表示システム

ッコ書きも含めると 5 文になっている。これは、「一文を短くして文の構造を簡単にする」というやさしい日本語への書き換え基準と合致する。

図 3 と図 4 を比較すると、やさしい日本語版は文の数だけではなく、文字数もかなり多くなっていることがわかる。一般的に、情報量を保持するならば、やさしい日本語版はよりスペースを必要とする。そこで、原文と同じ分量に収める必要がある場合、やさしい日本語版の情報量のどこをどのように減らすかが大きな課題となる。しかし、本アプリにおけるやさしい日本語版はデジタルデータの表示であるため、原文と同じ文字数やスペースであることに拘らずに書き換えを行うことが可能である。

4. スマホアプリを用いたリトファスゾイレへのやさしい日本語並行表示システム

2章で紹介した長内ら[8][9]のアプリにおいてリトファスゾイレに近い場合に表示する内容を、3章で述べたやさしい日本語へ書き替えた本文および解説文とすることで、リトファスゾイレへのやさしい日本語並行表示システムを実現する。

図 5 は杉浦兵庫頭誠の関連人物として掲載されている小出大和守の説明をやさしい日本語でアプリ上に表示した例である。カッコ書きの解説文はポップアップ表示もしくは文末脚注表示に変更する予定であるが、現時点ではカッコ書きのまま表示している。

この方法を用いて、引き続き設置されているリトファスゾイレのうち 3 基程度に対してやさしい日本語並行表示を行い、掲載されている歴史情報に詳しくない被験者を対象として評価実験を行い、表示されている情報に対する理解度や興味の度合などを評価する予定である。

5. おわりに

観光のために設置されているリトファスゾイレ上の専門的で正確だが難解な歴史情報に対し、やさしい日本語を用いた幅広い層への観光情報提示を目指している。リトファスゾイレに対して追加情報表示が可能なシステムを活用し、やさしい日本語に書き替えた説明および解説を組み込むことで、スマホアプリを用いたやさしい日本語並行表示を実現した。この仕組みに対する評価実験を行っていく予定である。

付記

本研究は JSPS 科研 25370570 および JSPS 科研 16K02790 の助成を受けたものである。

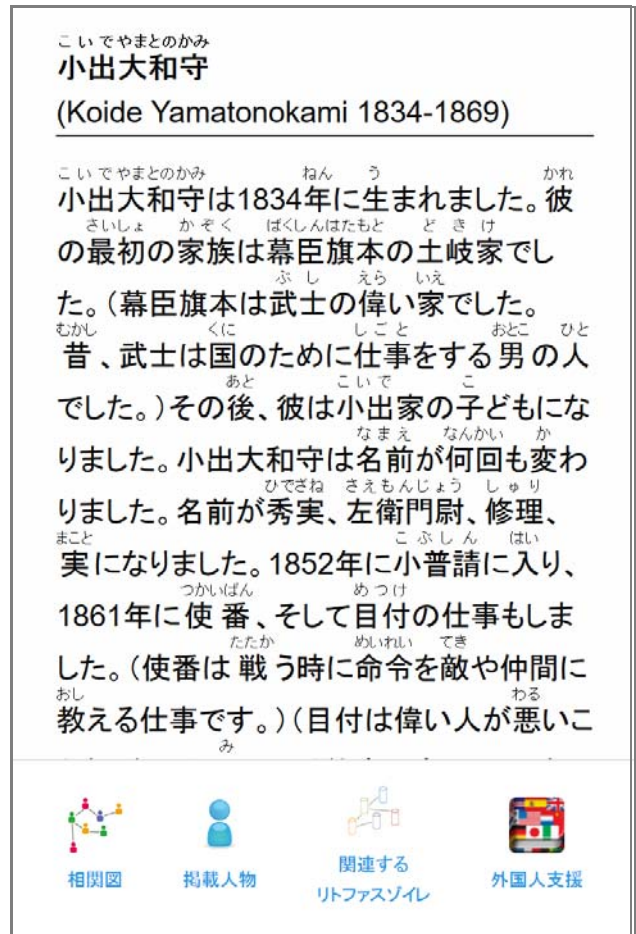


図 5 提案アプリ上の表示例

参考文献

- [1] 函館リトファスゾイレ, 公立ほこだて未来大学, <http://www.fun.ac.jp/funbox20140801/> (2014)
- [2] 埼玉県: 外国人に「やさしい日本語」表現の手引, 埼玉県庁, <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/yasashiinihongo.html> (2016/10 アクセス)
- [3] 減災のための「やさしい日本語」: 弘前大学人文学部社会言語学研究室, <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ1a.htm> (2016/10 アクセス)
- [4] 庵功雄: やさしい日本語—多文化共生社会へ, 岩波新書, (2016)
- [5] やさしい日本語ツーリズム研究会, <http://yasashii-nihongo-tourism.jp/>
- [6] 伊藤恵, 伊藤(横山)美紀, 大塚裕子, 奥野拓, 大場みち子: 外国人観光客対応のためのやさしい日本語作成支援システムの提案, 第 10 回観光情報学会全国大会, pp.24-25 (2013)
- [7] 伊藤(横山)美紀, 伊藤恵, 木塚あゆみ, 高橋圭

介：観光客向け展示物のやさしい日本語への書き換えに関する考察, 2016年日本語教育国際研究大会 (Bali ICJLE), (2016)

[8] 長内一真, 奥野 拓: 歴史資料を用いた函館リトファスゾイレの理解支援システムの提案, 情報処理学会第78回全国大会, 5ZB-05, (2016)

[9] 長内一真, 似内勇太, 奥野拓: 歴史資料を用いた函館リトファスゾイレの理解支援システムの構築, 情報処理北海道シンポジウム 2015 (2015)